

九月廿九日

九月廿九日

軍査第七一九号

明治十七年九月十八日

主務

軍務部次長

主査

御

輔

内局長

審査

船名 船長 崎 弓 上海 向ヶ 航行 中ノ 授權
新 告 別 紙 之 通 松 村 中 船 隊 司 令 官 司
進 達 之 旨 即 供 高 免 候 也

百十三

海 軍 省

0725

軍令部

機外第五十八号

軍令第七一九号

機外第五十八号

長崎ヨリ上海に向テ航行中模様

報告

当艦去月廿三日午後時四十分長崎港抜錨同
 二時五分伊豆島燈臺ヨリ南壹マイルノ處ニ
 来リ之起程ニ地トナシ計路ヲ西微南二分ノ一南ニ
 定メテ航ス此後天候快晴風位南微西風力二風雨
 針三寸、温度計八十五度同午後七時風力三西
 方ヨリ断雲少シク起ル風雨針前ニ異ナルナシ
 同十一時風位南々西ニ旋リ天曇リ風雨針二十九
 寸、九六ヲ示ス同廿四午前五時ヨリ同風位嵐天
 コシテ風力四、五ノ間ニアリ風雨針三九寸、九二同

受第五十八号

百十四 頁 旨

九ノ十八

0726

一時風雨計三九寸、九二是ヨリ吹牙と降ルモ風
 力漸次減少同午後四時ヨリ全ク是風トナリ
 仍テジブ、フオル、トライスル、及スパンカル、チ候ル此候
 風雨計三九寸、八二同七時北々東之方ヨリ輕風
 吹来リ陰雲飛散シ風力増加スルノ兆アリハ時
 五十三分ジブ、フオル、トライスル、及スパンカル、ヲ展ス正午
 至リニヨリ四ノ嵐風トナリ風雨計三九寸、六六
 ヲ争ク同廿九自午前曇ニ時風雨計降リテ平
 九寸、六三風力五ヨリ七「スパンカル」ヲ「フリー」ク又同四
 時微浪海高ク船体之動揺尤モ甚ニク風
 雨計三九寸、六六。六時風位依然北々變じ
 テヨリ風雨計三九寸、六二、昂ルモ風力尙未
 ダ衰ハス於首ヲ波面ニ衝入スル數度ハ時五分

0727

之レ方為ニヨブブームヲ折換仍テ直キニ在「セー」ルヲ
 西降キ索具ヲ取外シ更ニ「フ」アル「ド」ツブ「マ」スト「ス」テ「ス」ル
 ヲ展シ針路ヲ北西ニ轉シテ揚子江口ニ向フト雖モ
 又安全ヲ保ツテ見認ノ難キヲ以テ正午針路ヲ轉
 シテ北サトル島ノ南西ラツフルス島ニ向フト午後四時
 十分同島ノ南岸ノ泊地ニ碇留ノ未設備ノ因テ
 又以テ「ヨ」ブブームヲ入レ換ヘ天候ノ定マレテ待テ同
 日六時前六時十分天候靜穩ニ至ルヲ以テ同
 地碇留日十時五十分揚子江口ヨリ水道守者ヲ呼ビ
 示シ「シ」メ「ヨ」リ午後四時当上海泊地碇留仕舞
 前書航海中ニ當地撞礁報告仕舞也
 清國上海碇留
 七年九月六日
 碧城航本海軍支隊司令官
 田種真

百五十五
 八五

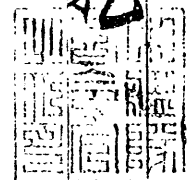
0728

海軍省

中隊司令官海軍少将松村淳毅 敬

前書之通有古系此より副申付也
七年九月

中隊司令官海軍少将松村淳毅
海軍御川村純子 敬



0729